

医療情報部

1. スタッフ（2024年4月1日現在）

部長（教授）（兼）	森下 義幸
【診療情報管理室】	
室長（兼）	松本 洋二 （事務部総務課長）
事務	11名
【システム運用管理室】	
室長	渡邊 輝幸
事務	10名

2. 診療部の特徴

医療情報部は中央診療部の1部門として、2009（平成21）年4月に発足した。

診療情報管理室とシステム運用管理室があり、診療情報管理室は、診療情報管理士による退院前DPC検証、DPC導入の影響評価に係る調査、院内がん登録、紙媒体記録の管理、診療情報統計作成、カルテ開示等を行っている。

システム運用管理室は、主に電子カルテシステム（COSMOS）の運用・管理を行っている。

認定資格者	
診療情報管理士	10名
医療情報技師	7名

3. 実績・クリニカルインディケーター

2024年に実施した医療情報部の主な活動内容・実績は下記のとおりである。

（診療情報管理室）

- 退院時要約の退院後14日以内承認率は毎月95%以上を維持した。

年度	2021	2022	2023	2024
承認率	97.5	98.8	98.6	97.7

- カルテ開示は、211件の開示を行った。

年度	2022	2023	2024
開示件数	226	261	211

- 院内がん登録は、3,073症例を登録し、全国集計へ提出した。（2024年症例）

症例年	2022	2023	2024*
登録件数	3,113	3,030	3,073

*2024年7月時点

- 退院前DPCの検証率は、毎月91%以上を維持し、2024年度は92.1%となった。

（システム運用管理室）

主な導入システム

- 輸血システム一部更新
- セキュリティ可視化ツール導入
- ATM一部更新
- POS、ATM新紙幣対応

4. 部門ごとの事業計画・目標の達成度、来年の目標等

診療情報管理室では、退院前DPC検証業務において、検証率92.1%、検証による診療報酬の適正化で約1億円増とした。

文書管理システム導入においては、説明同意書等の統一書式化を行った。さらに、文書およびスキャン運用の管理も開始した。

今後はこれらの業務に加え、量的点検を強化し、医療現場における同意文書等の適正な取り扱いを促すほか、院内略語集の整備に取り組む。

また、当室で扱う診療情報等からセンターの活動に必要なデータの作成支援・提供の推進を図ることや、診療情報管理士の業務スキル向上を目指した育成を進めていく。

システム運用管理室では、2024年度事業として附属病院・当センター合同にて病院情報システム更新（附属病院：2023年度、当センター：2024年度）を予定し、システム導入前のWG開催により運用の検討・マスタ準備などを行った。2025年1月に新システムの稼働を予定し、また、同時期に内視鏡部門システムの刷新による更新を計画していて、業務効率化や安定稼働を目指したい。